

“鮮度一番！”

No.237

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1 / ひとことコラム

1～2 / 運営委員会で話し合われたこと 編集後記

・・・ひとことコラム・・・

自分の老後は自分で決めたい！けれど

川瀬弓子

このテーマは簡単ではありません。年を取ればとるほどむずかしいと痛感しています。しかし避けては通れません。私がこの重いテーマにとりつかれてしまったのは、平成24年度の新オレンジプランを見たとき、さらに残りの人生をかけて何とかしなくてはと確信したのは平成30年度総合事業を知った時、でした。

新オレンジプランの基本的考え方では「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」とありいまだ目指しつつあるところのようです。その受け皿が用意されているとはいえません。

たとえばデンマークでは、認知症の方が住んでいるアパートがある、ふらっとお散歩に出ると公園がありカフェがある、食事ができ、他者と語り、読書やゲームができる、道はぐるっと回廊してまた自分のアパートへもどることが「自然」にできる、という「街並み」があるそうです。その街には医療や介護の専門職が「住民」として共存しているそうです。若年性認知症患者さんには発症から年限を限ってですが、その後の生活面心理面の再構築をするための伴走者が配置され、生涯の計画を早期に取り組んでいるそうです。

またスウェーデンでは、在宅療養をされている難病患者さんへは24時間の支援が組み込まれていて、ご家族は安心して働きに出られる、夜もぐっすり眠られる、当然患者さんの一人暮らしも可能とのこと。

我が国、わが町ではどうでしょうか？私の知る限りでは、医療介護他の多職種連携のもとに生活に困難を極めているご本人を医療機関につなげ正しい診断を受け介護保険につなげようとする努力はされているようです。それも大事なことですが、新オレンジプランや総合事業にうたわれている地域で支え合う環境づくりに行政の積極的な介入はあるのでしょうか？これも私の知る限りですが、民間の支え合いがあちこちで多くの方の善意で日々行われているのは承知しています。しかしデンマークやスウェーデンのような国や行政がガッチリ土台を支えている状況とは程遠い感じです。もし三條がこんな仕組みを街づくりに活用すれば人口はあつという間に増えるのではないかと想像するのですが、いかがでしょう？

かつて「団塊の世代」と名付けた堺屋太一氏はこれからの社会を「好老社会」と言われたそうです。自分で決めた「好老社会」めざしたいです。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成31年3月6日(水) (AM9:30～11:30)

場 所 三條市男女共同参画センター

4月の運営委員会は、第3水曜日の4月17日(水)午前9時30分から、男女共同参画センターで行います。どなたさまもお気軽においでください。

1.

参加報告

村田扶美枝

2月17日(日)ピカピカの燕市役所に「男女共同参画講座/新潟女性財団地域セミナーin つばめ」の講演を聞きに行ってきました。『「男性学」の視点から男女共に生きやすい社会を考える』というタイトルで講師は、大正大学心理社会学部准教授の田中俊之さんという40才くらいの男性でした。私は会場入りは二人目でしたが、最終的に満席となり、若い男女も多数おられ驚きました。

講師は歯に衣着せぬ語りで早口で、沢山しゃべって下さりわかりやすかったのですが、私の連記力と記憶力に問題があり、全てをお伝えできないのが残念です。

そもそも男性学についてキチンと聞いたこともないし、勉強したこともなく、初めてでした。それというのも私の中にも男性に対して、男性が男性であるがゆえに抱える悩みや葛藤に対して、軽んじていたところの現われだったのかもしれない。私の中にも確かにありました。しかも職場で……

介護の現場では、車椅子とベッドへの移動の際、重度の方は二人で、上と下を持って行きます。そこで男女問わず、男気のある人は、上の方が重いので上の方を持つとするのですが、40代男性が若くて可愛い女性職員と持つ際、遠慮なく下の方に行ったので、私が「私ならともかく〇〇さんなんだから、いいところ見せねんだ？」と言ったことを思い出しました。(ちなみに私は、「年だから私と組むのいやだ!」と言われたくないの、体力強化に励んでいますし、男扱いされます。キツイ時は、頼むこともできるようになりましたが……)男気って差別用語なんでしょうか？私は可愛い女性職員にも、つい男気みせてしまいますが……自分より体力的に劣っている人には、自分が頑張っただけ助け合い、チームワークと私は思っていますが……あと、もうちょっと、いいカッコみせよ！って思うのはいけないのかな？見せずも嫌がられますが……そういう職員もいて、その可愛い女性職員が言うんです。「あの、ありがとう待ちが嫌です!!」ですよ。わかるけど……バランスですかね？

大学生の80%が恋人いないそうです。なんで？今では、職場で話してても、そんな感じです。気軽に付き合ってみたりしないようです。それで出会いがないと言っています。結婚しないでいいし、子どもは養子縁組でOK!と言っている女性職員もいます。90年代より40代で100万円平均収入額が減っているそうで、二人でフルタイムで働かないと、同じ暮らしが成立しないそうです。大変な時代ですよ。確かに「誰のお陰で飯食ってられると思ってるんだ!」なんて言えない時代ですよ。

結婚というものの希望的なものが、見えないとさえ思えてしまう。結婚しても、二人で働かなきゃならず、男性も女性もお互いお疲れ様。仕事も家事も子育ても二人でやらなきゃ！当たり前だけど……やっぱりうちの嫁さん、頑張ってるな！って思った私でした。

ちなみに結婚に適している人とは、頑丈であることだそうです。(※4組に1組が離婚、シングル家庭も多い……結婚で大変!?)

2.

燕三条エフエム放送 (ラヂオは～と76.8MHz) ワイワイ女性ひろば

- 本放送 毎週木曜日 11:00～11:30
- 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

6ヶ月のごぶさたでした。今年も4月から三条女性会議の担当で始まります。今年最初のゲストは三条市長さんで、「防災・減災」についての話を中心に考えています。皆さまには、ワイ女ふうな会話をお楽しみいただきながら、必要な情報を小耳にいただければ嬉しいです。今年度もよろしくお願ひ致します。(田辺)

3.

総会について

第24回三条女性会議の総会について話し合いをしました。開催日程は、5月か6月初旬の土曜日を予定とし、記念講演会の講師の都合に合わせて行うこととしました。講師の候補としましては、昨年「家庭教育の大切さについて」と講演をしていただいたので、今回は、子どもへの「虐待」が問題となっている今、また他の視点からのお話をいただければと思っています。次回の会報で総会の日時と講師をお知らせしますのでしばしお待ちくださいませ。

編集後記:

春の息遣いをあちこちに感じ「そろそろ田んぼが始まるぞー」の声が聞こえてきます。トラクターや田植え機なんぞなかった時代を体感してきたおじいちゃんおばあちゃんには申し訳ないのですが、春なんてこなければ……すみません、愚痴ってしまいました！鮮度一番237号、どうぞ隅から隅までお読みください。(原)



編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 Tel 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>